

口腔粘膜の診かたとわたしの 患者との向き合いかた

Clinical Examination of the Oral Mucosa and My Approach to Patient Care



増田 梢

Kozue Masuda

医療法人社団八龍会 すずき歯科医院
Suzuki Dental Clinic

患者の健康志向や予防意識の高まりに伴い、歯科衛生士は口腔と全身の関係を考慮しながら日々の診療に取り組んでいる。また、患者のニーズの多様化に伴い、歯科衛生士には知識・技術の習得とそれに対応した支援ができる視点や能力が求められている。口腔粘膜の観察もそのひとつであろう。

歯科を受診する口腔疾患として「う蝕」や「歯周病」を想起する患者は多いが、歯科医療は口腔全体の管理を担っており、口腔粘膜疾患への対応を避けることはできない。

わたしは、専門分野の指導医による指導を受け、日常の臨床で口腔粘膜を診ることを習慣としている。そこには、粘膜疾患を見つけたいという思いではなく、「早期に気づくこと」「重症化を防ぐこと」という目的意識がある。そのためには、正常な状態と異常な状態の違いを見分ける知識が不可欠であり、気づいた所見を歯科医師・患者・歯科衛生士の三者間で共有し、適切な指導を行うことが患者との信頼関係の構築につながると実感している。

わたしが歯科衛生士となって20年以上の時が経った。臨床を継続し、自身への体得を実感できることのひとつにマイクロスコープの活用がある。本講演では、口腔粘膜の診かた・診る時のポイントとともに、マイクロスコープが患者とわたしの効果的なコミュニケーションツールとして定着していることをお話しできればと思う。

【略歴】

- 2004年 愛知学院大学歯科衛生専門学校 卒業
医療法人社団八龍会 すずき歯科医院 勤務
- 2017年 日本顕微鏡歯科学会認定歯科衛生士取得
- 2024年 日本顕微鏡歯科学会認定指導歯科衛生士取得

One of the areas in which I have experienced professional growth through continued clinical practice as a dental hygienist is the use of the microscope.

In this presentation, I will discuss methods and key points for observing the oral mucosa, and describe how the microscope has become established as an effective communication tool between patients and myself.

【Brief Biography】

- 2004 Graduated from Aichi Gakuin University Dental Hygienist Training School
Dental Hygienist, Suzuki Dental Clinic, Medical Corporation Hachiryukai
- 2017 Certified Dental Hygienist, Japanese Association of Microscopic Dentistry
- 2024 Certified Instructor Dental Hygienist, Japanese Association of Microscopic Dentistry